

## 歯科放射線診療ガイドライン委員会第2回会議議事録

日時：2006年10月27日（金）9:00～11:00

場所：福岡県歯科医師会館

出席者：

佐野 司, 庄司憲明, 田口 明, 筑井 徹, 中山英二, 村上秀明（敬称略・あいうえお順）,  
林 孝文

審議事項：

### 1. 診療ガイドラインに関する意見交換

・佐野委員より、歯科医学会での話し合いにおけるガイドラインの位置付けに関して報告があった。来年4月頃に歯科医学会から各学会に対して、学術的なガイドライン策定について依頼がなされることが予想されるとのことであった。また、状況によっては来春にも開催する可能性のある公聴会のために、4月15日（日）に東京歯科大学の血協ホールを仮おさえしていることが報告された。

・委員から、ガイドラインに対する意見や感想が述べられた。ガイドラインの対象を明確にすべきであるとの意見が出された。またパノラマの断層機能についても検討すべきとの発言があった。

### 2. インプラントの画像診断ガイドライン策定における進捗状況報告とディスカッション

・インプラント診療で頻繁に用いられている「骨質」に関する見解について意見交換がなされ、単に海綿骨領域のROIのCT値を計測するような評価法に「骨質」という用語は使うべきではないとの結論となった。

・その他のclinical questionについて、担当者からの説明とそれに対するディスカッションがなされた。

### 3. 今後の予定

・スケジュールの目標としては、来年3月末にインプラントの画像診断ガイドラインを完成体とすること、また可能であれば4月に公聴会を開催する方針であることを確認した。

・これまで同様、引き続きメール審議を主体とし、2007年2月23日（金）～24日（土）の日本画像医学会（東京国際フォーラム）に合わせて次回（第3回）の会議を設定することを確認した（会場設定は佐野委員にお願いすることとした）。

（追記）

NPO 法人日本歯科放射線学会第11回臨床画像大会での講演（ミニレクチャー）について

日時：2006年10月28日（土）13:15～13:30

場所：福岡県歯科医師会館

1. 「歯科放射線診療ガイドラインの策定」と題して林委員長が委員会を代表して講演を行った。

2. 講演に対し、以下のような質疑応答がなされた。

・ガイドラインの意義からして、可及的速やかに公表すべきであるとの指摘があった。

・被曝についても十分配慮すべきとの指摘があった。

・外部評価についての質問があり、委員長より現在検討中であるとの回答があった。

・委員の増員についての質問があり、委員長より学会員に協力を仰ぎたいとの回答があった。

以上

文責：林 孝文